



水戸市男女平等参画基本条例の啓発と
男女平等参画社会の形成と促進のために

WAVE

第9号

発行日：2013年11月30日
発行：特定非営利活動法人
M・I・T・O 21
〒310-0851 水戸市千波 508-34
発行責任者：黒澤輝子

ヒューマンライフシンポジウム 2013に参加して

9月は水戸市男女平等参画推進月間です。推進事業の一つであるヒューマンライフシンポジウム講演会が9月28日、エクセルホールで開催され、約300名の市民が集いました。講演に先立ち、男女平等にちなんだ標語・写真コンテストの入賞者や、推進に尽力された「みと暮らしの会」の森口昌子さん、五軒消費生活グループ、株式会社フジテックが表彰されました。



高橋市長のあいさつのあと講師の映画字幕翻訳者の戸田奈津子さんが登壇され、女(ひと)と男(ひと)ともに豊かに生きる「字幕の中の人生」と題した講演がありました。「一対一の話のように聞いて下さい。」と参加者の緊張を解きほぐすように語り始めました。

冒頭、最近の映画事情について「映画のフィルムはここ一年でなくなる。単独映画館も少なくなりました。現在はすべてデジタル化して映写技師もいなくなり、映写機もくず鉄になってしまった。これからは自宅でもスイッチ一つで新作が映る時代となるだろう。閉ざされた空間で同じ映画を一緒に観る楽しみがなくなる。」

また映画の撮り方についてもコンピュータでバーチャルに創ることが可能となりビジュアル化した。しかしジョージ・ルーカス監督のスターウォーズについては「壮大な宇宙のドラマであり少年の夢である。自分の頭の中に宇宙世界が映る」とも語られました。

字幕翻訳者という職業を日本中に知らしめた戸田さんは小学生の時から大の映画好き。大学で学んだ好きな英語を同時に生かせる仕事としてこの道を選んだとのことでした。

ご自身がOLなどを経て本格的に仕事できたのは40代。コッポラ監督の「地獄の黙示録」の字幕翻訳をしたことがきっかけです。さらに「時間がかかったが、好きになることが大切であり、好きを育てよ」と訴え、「字幕は難しい漢字を使うと映画会社から苦情がくる。句読点もなく一瞬にみて分かる見やすさが大事である、何事にも基礎が大事であり、すぐ力になるとは思えないが **Never too late!** 決して遅くはない、あきらめてはいけない」とこれまでの経験を生かした説得力のある言葉が印象的でした。またユーモアを交えながら、俳優のトム・クルーズやジョニー・デップなどとの交友録を淡々と話す戸田さんに会場からも万雷の拍手があり、時を忘れた講演会でした。(田山知賀子記)

～女と男のいきいきスタイルセミナーⅡ～

第1回 大切な人とどう生きるか

平成25年6月28日(金)

～人権相談の中から男女の問題を考えよう～と題し、茨城県人権擁護委員連合会会長の楢崎薫(うつぎざきかおる)氏を迎えて話を伺いました。本人は30代後半で水戸市長から推薦を受け、水戸市議会の承認を経て、法務大臣より委嘱を受けています。

昭和23年世界人権宣言が採択され、人権擁護委員制度ができ、昨年60周年の記念大会を行いました。茨城県では昭和26年に連合会を設立、施行しています。

人権擁護委員は弁護士や司法書士、教職をされていた方、僧侶など地域での人望が厚い方が多く、茨城県の役員男女比は全体の46、6%女性が占めています。人権擁護委員の日や人権週間には、街頭やサッカースタジアムで啓発活動として啓発物の配布をして、人権擁護委員のPRをしているとのこと。



人権相談は男女の問題(セクハラ、DV、離婚)も多くありますが、近隣の係争や高齢者の人権侵害なども近年増えている問題で、特に子ども、女性や高齢者など社会的弱者の救済が多く見られます。

みと文化交流プラザや内原中央公民館などを会場に年に7～8回人権特設相談を水戸市から委託されて人権擁護委員が対応しています。相談件数は県内で2001年に1万6千件ありましたが2012年には5千件になっており、法テラスや消費生活センターなど、相談環境が整備されてきました。

また啓発活動として茨城県で始まった人権教室は水戸市内のほとんどの小中学校で実施されており、いじめ対策に効果があると、今や全国へと広がっています。小中高生の人権作文や人権メッセージは数多く優秀作品が寄せられています。誰にも等しくある人権であるが、守るためには一人ひとりが人権擁護の理念をもっと社会の中で理解していかなければならない。不安を抱える方の救済のために、水戸市には人権擁護委員が15名もいること、身近に頼れる存在を知ることができて意義ある講座でした。

第2回 シンプルライフを目指そう

平成25年7月26日(金)

―リサイクル業者からの提言― 昨年に引き続き、物持ちシニアのお片付けのための講座を水戸市赤塚で有限会社シンエーの代表三村榮司氏をお迎えして話を伺いました。

講師は昭和35年から赤塚駅の近くに店舗を構え、道具屋として商売をしており、高度成長期とともに新品を仕入れて商う傍ら、経済の低迷で廃業になった店舗の片づけや、大型電気器具や事務所の備品、美術品、骨董品の買い取りなどを行っています。引越して不用になったものや離婚などで引き取った家具類は増える一方で、かなり在庫があるそうです。

近頃は高齢者の一人暮らしの片づけを市の高齢福祉課を通して依頼があり、施設に入って、空き家になった家の生活用品の処分までする時代になってきています。

日頃から、必要頻度の物差しを持って、片づけをしておかないと、処分業者によってトラック一台で片付け料の設定料金とモノによっては他に処分料金もかかるという、そのためのお金も大変になっています。

物を買うのがストレス解消とか、どこかで話をできる仲間を求めて、毎日のように出かけてくるお客様もあり、買ったものの後悔より、欲しくて買えなかった後悔があるのか愛着のあるものの処分はなかなか進まないものです。しかしやがて捨てなければなりません。

大きいものは買わない工夫、買った分だけ処分、この先どこでどう暮らしていくか、各々暮らし方の総点検をするきっかけとしてこの講座が参加された方に役立つことに期待します。



～女と男のいきいきスタイルセミナーⅡ～

第3回 知って得する年金のあれこれ 平成25年8月23日(金曜日)

今、そしてこれからの暮らし方を考えよう・・・講師の水戸北年金事務所お客様相談室 高橋めぐみ氏は20代後半の中堅の担当者でした。集まった参加者はほとんどが年金受給者、他何人かは受給年を待機中の方か、今後の年金支給の動向が気になる方たちでした。公的年金の**老齢基礎年金**1階部分(誰もが加入する)、社員や公務員が加入する**厚生年金**2階部分(公務員は共済年金)、企業による3階部分**企業年金**があり、それぞれ遺族にお金を支払う遺族年金の仕組みがあります。**遺族基礎年金**は「子のいる妻」か「子」だけで、亡くなった人によって「生計を維持されていた」と認められる遺族だけ、年収850万円未満であることが条件、子どもが18歳になった日以降の最初の3月末まで。「子がいる夫」父子家庭は支給がなかったが、来年4月から受け取れるようになった。「子のいない妻」には要件を満たせば、「**寡婦年金**」か「**死亡一時金**」のどちらかが受け取れる。自分の年金で暮らせることが一番安心なのだが、消費税も5%から10%に上がった場合の暮らしは誰もが不安です。物価や賃金の変動に応じての毎年見直しをされているとのことだが増えた話は聞かない。財源が乏しいと聞く昨今、団塊の世代が大量受給年齢になり、少しでも満額で受給したいと切り詰めた暮らしをしながら、健康に注意して元気に暮らせるよう各自工夫していきたいと思いました。

水戸市男女平等参画推進月間講座

第4回 女と男の展望ある明日へ

平成25年9月13日(金曜日)

～今、そして明日の暮らしを考えてみませんか～



講師 認知症対応型共同生活介護施設「すばる」

介護支援専門員 檜山 昌子 氏

高齢社会を迎えた今、地域社会の中の不安を解消するために高齢者施設の介護支援専門員から見た女性・男性の特性と上手な年の重ね方を理解し、認知症にならない生活方法や家族が介護を必要となった場合の言葉かけや介護のコツ、一人暮らしの方への社会支援の方法を学びました。

○在宅から施設へ [1980年代]

介護は家族の問題・・・家の中で解決する→介護者は配偶者・長男の嫁・子どもたち

↓核家族・共働き・少子化

↓家の中だけで解決するのが困難

医療の発展とともに、介護が大変になり、社会問題にまで

社会の変化の中

○施設から在宅へ [1990年代]

介護負担の軽減が課題に

・高齢者保健福祉10か年計画(ゴールドプラン)施行

・在宅介護支援センター

・在宅3本柱(ホームヘルプ・ショートステイ・デイサービス)在宅福祉サービスの充実を図る

介護保険法(1997年12月成立)

○地域へ[2000年代] ・地域で安心して生活できる社会へ→→→ 今日介護は続く→→→

施設の種類 ・特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設) ・老人保健施設(介護老人保健施設)

・介護療養型医療施設(介護型療養病床) ・グループホーム ・有料老人ホーム(特定施設)

第5回 おいしく食べて健康に一元気食のヒントがいっぱい

講師 和光堂株式会社 東京支店 ベビー&シニア統括営業部 駒田 賢一 氏



誰もがいきいきと暮らしていきたいと願っていますが、加齢による身体の変化は必ずやってきます。何でも食べられる若いころと違って歯が弱くなったり、硬いものが食べづらくなったり、唾液の分泌が減少し、咀嚼力が低下し、飲み込む力が弱くなると食べ物をのどに詰まらせ、誤嚥してむせやすくなることがあります。『高齢社会をよくする女性の会全国大会 in 茨城』で企業展示ブースに商品を紹介していた和光堂の駒田氏に講演をお願いし、試供品をたくさん提供していただきました。

嚥下障害から誤嚥性肺炎の死亡率が高いということ。口腔ケアは“食べられる口づくり”と“栄養改善”口腔ケアグッズと使い方と実技指導、とろみ調整食品によるむせやすい水分の補給の適切化、介護食については調理済み食品の試食をして、食べることの意義・食べるって楽しい!を続けるための商品研究の成果を話していただきました。食べることは脳を刺激し、老化防止と五感(味・嗅・視・聴・触)覚で味わい、「おいしかった」「おなかいっぱい」の満足感、充足感が得られること。

食べる環境

- ・食べる雰囲気
- ・食形態の整備
- ・食介助の適正

左の3つがバランスよく交われればおいしく食べることに。。

口腔の健康

- ・口腔ケア(清掃)
- ・口腔ケア(治療)

わいわい五軒文化祭パネル展示

11月16, 17日

食べる機能の正常

(摂食/嚥下整備)

- ・口腔リハビリ
- ・おいしく食べる体操

日本女性会議 2013 あなん(徳島県阿南市)10月11, 12日に参加してきました。

初日は分科会に参加し、農業を営む人たちの話を聞いてきました。農業は機械化によって労働は大変楽になってきたが、費用がかかり、次の世代を継ぐ人がいない、嫁さんに来ないので独身の人が多い等、全国的に同じような話題で盛り上がりました。

夕方より交流会が体育館で行われ、地産地消を基本に沢山の料理がふるまわれ、冷房効果なしの中、大勢の人が集まり、暑い熱い交流をしてきました。

次の日も同じ体育館で全体会が行われ、冷房なし、扇風機なし、団扇のみの大会で、主催者側は2日間とも天気がよく、予想より暑くて…と弁解しきりでした。四国の地方都市が全国大会を開催する勢いには感服しました。(西野 記)



世界の男女平等はいかに
ベトナム社会主義共和国の
現状紹介



ベトナムコーヒーはいかがですか



編集後記 今年度の事業、ヒューマンライフシンポジウム、いきいきスタイルセミナーⅡ、黄門さん・青空マーケット、文化祭まで会員の皆様、いくつ参加されましたか... もっとマンパワーが欲しいです。反省の一年でした。皆様には良い年をお迎えください。事務局